

円滑化と期間短縮に期待

B I M図面審査の開始は、設計のデジタル化と標準化を推進する重要な転換点と捉えている。この制度ではB I Mモデルは審査の参考資料にとどまるが、2029年開始予定のB I Mデータ審査を見据えれば、B I Mを用いた業務プロセス・データ体系を再定義し、施工・維持管理に至る連携のあり方を見直す契機となる。

当社の設計部門も意匠分野を中心にB I M標準整備と図書作成に取り組んでいるが、実務では申請図と最新図で差異が発生した際の整合・統合作業の効率化に期待している。

イチケン

上條 育朋氏

今後、データ審査に向けデータ要件定義が進むことで、データ構築の標準化と効率化、判断基準共有による確認手続き円滑化と期間短縮につながることを期待する。

(技術本部設計統括部B I M監修グループ担当部長)

